

## 平成 31 年度 環境活動スタート事業

### 1 実施校

福島大学附属中学校

### 2 実施日

令和元年 7 月 10 日 (水)

### 3 講演会の様子

「だれ一人取り残されないために＝僕の国キリバスからのメッセージ＝」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏を講師として実施しました。キリバスの歴史や現状を資料映像 (VTR) や写真を取り入れながら分かりやすく説明し、地球温暖化が及ぼす影響についての講義を行いました。



### 4 講演を聞いての感想

- ・ 2050 年にはキリバスの島のほとんどが無くなってしまおうという深刻な状況を知り、少しでも温暖化をくい止めようと思いました。
- ・ ゴミをポイ捨てせず、分別して再生利用などをするということで地球環境に貢献したいと思いました。「Think Globally Act Locally」の精神を忘れず生活したいです。

※次のページに進む

- ・今問題になっている地球温暖化が及ぼしている影響がどれだけ大きく、深刻なのかということが分かりました。また、ケンタロ・オノ氏の話から、キリバスに住んでいる人たちの最後の最後まで国土を残したいという熱い想いが伝わってきて、大きく心を動かされました。私もキリバスという美しい島をずっと残していきたいので、日本だからできることを見つけ実行していきたいです。
- ・キリバスという国を通して、今の世界や日本の現状、地球温暖化について深く学ぶことができました。「愛」の反対は「無関心」と聞いてなるほどと思いました。クイズも使っていたりしてとても楽しい授業でした。これから自分にできることをやっていきたいです。
- ・普段は地球温暖化について深く考えたことはありませんでした。しかし、この話を聞いて思っていた以上に深刻で「人類の問題」へとなっていました。私たちにとって当たり前のこともキリバスの人々にとってはとても幸せなことなんだなと思いました。これからは自分にできることを実践して、困っている人の役に立ちたいです。
- ・今まで私たちが言っていたことはきれい事だったのではないかと思います。ケンタロ・オノさんが私たちに「希望を持っている。日本の人々の力で変えられる。キリバスを救える」と言って下さったので、期待している方へ、キリバスを守るために少しのことから始めていきたいと思いました。
- ・自分の国（キリバス）が地球温暖化の影響を受けていて悲しい気持ちが伝わってきたので、私たちが防波堤となって、キリバスも日本も助けていきたい。今まで自分が地球温暖化に無知で、どれだけ地球に悪い行動をしていたのかが分かりました。本当に心を動かされた講義でした。
- ・ケンタロ・オノ氏の話はすごくメッセージ性があって、キリバスの人々のためや、そのような実態が起こっている他の国々の人たちのためにも日本でポイ捨てを止めなければならないと感じました。自分にできることを考えて地球温暖化に向き合っていきたいと思えます。
- ・講義を聞いて地球温暖化の深刻さを改めて知ることができました。キリバスが地球温暖化の影響で沈んでしまっていることを聞いて「もう他人事ではない。自分でも実践してやる。」と思い、講義を聞いた日から二酸化炭素の排出を抑えようと実践することができました。